

本書に下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p. 67 13 行目 (ヒメハナバチ属 亜属への検索表)

(誤) 14. 体長 7 mm 以下；前伸腹節三角域は大きく，彫刻は弱いか荒い；前翅の径分脈は縁紋近くで終わる (5)

↓

(正) 14. 体長 7 mm 以下；前伸腹節三角域は大きく，彫刻は弱いか荒い；前翅の径分脈は縁紋近くで終わる (6)

p. 67 15 行目 (ヒメハナバチ属 亜属への検索表)

(誤) ー 体長 7 mm 以上；前伸腹節三角域は細かく彫刻されるか，もしくは荒く彫刻される場合でも前翅の径分脈は縁紋から離れて終わる (6)

↓

(正) ー 体長 7 mm 以上；前伸腹節三角域は細かく彫刻されるか，もしくは荒く彫刻される場合でも前翅の径分脈は縁紋から離れて終わる (5)

p. 299 13 行目 (日本産ハキリバチ属 *Megachile* 亜属への検索表)

(誤) 3. 腹部背板はほとんど全体橙色の毛で覆われる [かなり大型で体長 14~19 mm。大顎の切歯は極めて大きい]

↓

(正) 3. 腹部背板はほとんど全体橙色の毛で覆われる [かなり大型で体長 14~19 mm。大顎の切刃は極めて大きい]

p. 316 アギトハキリバチ 形態の説明 5 行目

(誤) 複眼と大顎基部前端の間も明瞭に離れる (↓)，他種ではほとんど接する。

↓

(正) 複眼と大顎基部前端の間も明瞭に離れる (↓)，他種ではほとんど接する。

p. 427 ヒマラヤルリモンハナバチ 種小名

(誤) *Thyreus himarayensis* (Radoszkowski, 1893)

↓

(正) *Thyreus himalayensis* (Radoszkowski, 1893)

p. 446 3 行目 (種の解説に掲載していない種 科名の見出し)

(誤) [ムカシハナバチ科] ⇨ (正) [コハナバチ科]

p. 465 (学名索引 右段 下から 9 行目)

(誤) *himarayensis* ⇨ (正) *himalayensis*

p. 466 (和名索引 左段 下から7行目)

(誤) アブラナ ⇨ (正) アブラナヒメハナバチ

p. 479 最終行

(誤) 本書は環境省総合。環境総合推進費 S9-2-(8) (代表者：多田内修) から作成助成を受けた。

↓

(正) 本書は環境省環境研究総合推進費 S9-2-(8) (代表者：多田内修) から作成助成を受けた。

カバー写真説明

(誤) ㊟ムナカハキマダラハナバチ ⇨ (正) ムナカタキマダラハナバチ